

令和6年7月5日

◎久保委員長 ただいまから、商工農林水産委員会を開会いたします。

(12時24分開会)

◎久保委員長 本日の委員会は「県外調査等について」であります。

お諮りいたします。

日程については、日程案によりたいと思いますが、これに御異議はありませんか。

(異議なし)

◎久保委員長 御異議ないものと認めます。

それでは、県外調査について協議したいと思います。

御手元に県外調査の視察の日程表をお配りしております。そして先般、委員会の中で事務局のから御説明をしていますので、よろしくお願ひします。

御意見をどうぞ。小休にします。

(小休)

－候補地等について協議－

(九州方面で意見が一致)

◎久保委員長 正場に復します。

それでは、調査先につきましては九州方面ということで、調査日程につきましては先般も大体8月の末ということで、今日も御手元に資料があると思いますけれども、8月末で月曜日を外して27日から30日で調整したいと思います。

なお、細部につきましては、正副委員長に一任を願ひます。

次に、天狗高原及び伊方発電所の視察について協議をしたいと思います。小休にします。

(小休)

◎ 伊方発電所につきましては、各会派によって随分と意見が違いますので、これはもう委員会ではなくて、会派ごとに行かれるところがあれば、行くことにしてはどうかと思います。

次に、四国カルストにつきましては、私は行ってはどうかと思っております。その理由としましては、この問題が起きてから希少植物等保全対策検討委員会を、令和5年度は4回、今年度は6月に1回、計5回やっています。それまでの4回についての資料、そして議事録を読みました。今年の6月についてはまだ議事録が出ていませんけれども、資料について読みました。

探勝路を造ることによって四国カルストの希少植物が傷んだり、外来のものが入ってくるということですが、本質的なところは、一方で自然保護しながら開発をうまくしていく。今回は、事前の調査が十分でなかったことで課題が出てきましたけれども、これは四国カルストだけではなくて、高知県が持っている自然の保護と開発、もっと言えば観光振興の両方を調和していくことが本質的なところではないか。

今回、津野町から観光振興で四国カルストに来る方を増やして滞在型にしたいということで整備した。しかし、十分な調査ができなかったからこのようなことになっているので、私は、改めて現地へ行って目の当たりに見てはどうかと思います。

◎ せっかく行くようでしたら、時間があれば、西部家畜保健衛生所の梶原支所がなくなって、その後の状況なんかも少し調べるため、農家さんを寄ってみたいですね。

◎ 天狗高原から下りてきたところに土佐あかうしの大規模な畜舎がありますので、見れたら見たらいいと思うし、コース取りによっては、帰ってくる途中で再造林したエリアがあって、鹿に食われないように一本一本布を掛けている。結構広大に見晴らせるところもあるので、バスの中で見るだけでもいいし、降りて見たところで5分もかからないので、せっかく行くやったら見てはどうかと思います。

◎久保委員長 正常に復します。それでは、天狗高原の視察を行うこととし、細部については正副委員長に一任を願います。

8月1日出先取りまとめ委員会がありますので、その折に今後の日程について決めたいと思います。日程についてはですね、希少植物等保全対策検討委員会の中でも出ていますけれども、いつ行ってもいいものではないので、そこら辺りも一任願いたいと思います。

以上をもって、日程は全て終了いたしました。

これで、委員会を閉会いたします。

(12時33分閉会)